

平成23年度第1回伊達市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時	平成23年7月27日(水) 午後1時30分～2時30分
会場	伊達市役所2階特別会議室
出席者(審議委員)	別紙「出席者名簿」のとおり
市側出席者	松浦総務企画部長、渡辺企画調整担当次長、鈴木企画調整課長、菅野企画調整係長、丹治主任、本田主査
その他の出席者	なし
報道関係	福島民友新聞社
傍聴者	なし
会議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状の交付</li> <li>3 会長あいさつ</li> <li>4 協議 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成22年度会計収支決算の承認について</li> <li>(2) 月舘地域定路線型デマンド乗合タクシーの月舘エリア延長について</li> <li>(3) 路線バス川俣掛田線・月舘経由川俣線の再編について</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
会議の経過	別添のとおり
会議結果	協議事項(1)(2)(3)について、原案どおり可決
特記事項	なし

## 第1回伊達市地域公共交通活性化協議会内容

発 言 者	発 言 内 容
<p>司会 (菅野係長)</p>	<p><b>【開会】</b></p> <p>それでは、ただ今から平成23年度第1回伊達市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>本日は、お忙しいところ、ご出席を賜わり、誠にありがとうございます。</p> <p>本協議会は、平成19年10月1日より施行されました、地域公共交通活性化及び再生に関する法律により、地域の主体的な取組及び創意工夫を総合的に、一体的かつ効率的に推進することを目的として、市町村と関係する交通事業者や、道路管理者、公共交通利用者等を構成員として設置されております。</p> <p>本協議会の協議を経まして、「伊達市地域公共交通総合連携計画」を平成21年3月に策定しております。</p> <p>また、本協議会は、福島県生活交通対策協議会の分科会となっており、乗合バス路線の休止・廃止についても協議ができることとなっております。</p> <p>本協議会は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律により、原則公開とされていることから、会議は公開で行い、議事録等についても公表することになりますので、予めご了承頂きたいと存じます。</p>
<p>司会</p>	<p><b>【委嘱状の交付】</b></p> <p>それでは、異動等により新たに委員になられた方への委嘱状の交付をさせていただきます。次ページに名簿が掲載されております。左端に「新」と記載されている方が、今回新たに委員になられた方々です。</p> <p>なお、委嘱状は、代表の方への交付とさせていただきます外の皆様の委嘱状につきましては、机上に配布させていただきますのでよろしく願いいたします。それでは、川崎理恵子様前へお進みください。</p> <p>川崎理恵子 委員へ、委嘱状の交付</p>

司会	<p>続きまして、仁志田会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
仁志田会長	<p><b>【会長あいさつ】</b></p> <p>皆様には大変お忙しい中、本協議会へご参集いただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>今回は、東日本大震災によりまして、伊達市をはじめとする福島県全体が大きな被害を受けたところでありますが、その後さらに原発事故による放射能問題が発生し、まだまだ心配な日々が続いているところです。</p> <p>この東日本大震災により阿武隈急行線も大きな被害を受け、運休を余儀なくされる状況になりました。また、車の燃料の確保が難しい状況とあいまって、伊達市内の公共交通も混乱する事態となりましたが、その中でも路線バスは、毎日、途切れることなく運行され、福島市や仙台市への通勤通学の足を確保いただきましたことについて、福島交通株式会社に対し、感謝を申し上げる所です。</p> <p>デマンドタクシーも燃料の確保ができ、電話が復旧したことにより、数日の運休のみで再開しましたが、阿武隈急行線は沿線の被害が厳しい状態であり約2ヶ月に渡り運行が困難となりました。</p> <p>まさに、今回の震災により、公共交通の重要性が市民に再認識されたと考えております。</p> <p>現在、伊達市は、少子高齢社会に対処するためSWC(スマートウェルネスシティ)構想により、歩いて暮らせるまちづくり、健康で幸せに暮らせるまちづくり「健幸都市」を目指し進んでいます。高齢化社会というのは、なにより車が運転できなくなる社会でありまして、東京のように公共交通が発達している都市であってもそうだと考えられますが、車の運転ができなくなると生活できなくなる、買い物にも行けない、病院にも行けないということになります。そうしますと、高齢化社会というのは昔のように歩いて暮らせるまちづくりが重要になります。そして、そのことが、健康ときわめて重要な関係にあるということでもあります。</p> <p>その中におきまして、歩くことと公共交通との連携が重要なものと考えております。</p>

	<p>当市では、皆様のご協力により、市内全域でデマンド型乗合タクシーの運行を実現し、地域の公共交通として活用されておりますが、本日の協議事項にもありますように、今年10月からは、兼ねての懸案であった旧町間を越えたデマンドタクシー運行を一部で実施してまいりたいと考えております。</p> <p>伊達市公共交通政策のより一層のご協力をお願いいたしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。</p>
司会	<p><b>【出欠状況】</b></p> <p>出席状況であります。本日、6番国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所第二調査課長 種市優委員、9番社団法人福島県バス協会専務理事 千代谷俊行委員、12番東日本旅客鉄道株式会社福島支店長 水間弘委員 25番伊達市連合婦人会副会長 福地アイ子委員 26番伊達市社会福祉協議会会長 梅津義昭委員 27番梁川伊達まちなかタクシー運行委員副委員長 浅尾浩一委員 31番伊達市商工会会長 渡邊武委員が都合により欠席となっておりますので、ご報告いたします。</p>
司会	<p>それでは、3の協議に入らせていただきます。議事進行にあたる議長につきましては、規約第10条第1項の規定により、会長の仁志田伊達市長に務めて頂きたいと思っております。それでは会長、よろしくをお願いいたします。</p>
仁志田会長	<p><b>【協議】</b></p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。各委員の皆様方のご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>まずは、規約第10条第2項の規定によりまして、委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>続いて、協議に入らせていただきます。</p> <p>まず、協議事項1 平成22年度会計収支決算の承認について、事務局より説明をお願いします。</p>
鈴木課長	<p>平成22年度会計収支決算資料により説明</p>

仁志田会長	これについては、監査を受けておりますので、監査委員であります、須永英次委員より報告をお願いします。
須永監査員	7月13日に監査員である小野委員と私で監査を行いました。平成22年度伊達市地域公共交通活性化協議会会計収支決算について、関係諸帳簿並びに証拠書類に基づき監査を行った結果、適正かつ正確であることを認めました。以上、報告します。
仁志田会長	ただいまの事務局説明に対して、ご質問、ご意見等がございましたら、挙手の上ご発言をお願いします。
委員	<意見等なし>
仁志田会長	ご質問等がないようですので、平成22年度会計収支決算について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
委員	<異議なし>
仁志田会長	ご異議がないようですので、原案のとおり承認することとします。 次に協議事項2 「霊山・月館デマンド型乗合タクシーの月館エリア延長について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。
鈴木課長	霊山・月館デマンド型乗合タクシーの月館エリア延長について説明
仁志田会長	ただいまの事務局説明に対して、ご質問、ご意見等がございましたら、挙手の上ご発言をお願いします。
委員	<意見等なし>
仁志田会長	ご質問等がないようですので、事務局提案のとおり同意することにご異議ございませんか。

委員	<異議なし>
仁志田会長	ご異議がないようですので、原案のとおり同意することとします。
仁志田会長	次に、協議事項3「路線バス川俣掛田線・月舘経由川俣線の再編について」事務局より説明をお願いします。
鈴木課長	路線バス川俣掛田線・月舘経由川俣線の再編について説明
仁志田会長	この件について、バス事業者である福島交通さんからご意見をいただきたいと思います。
福島交通(株) 鈴木次長	今回の案につきまして、川俣町さんからも要望がありまして、当社も検討をしておりました。当社としましては、通勤通学に支障をきたさないということを考えながら、10月1日からこの再編案に沿って運行できるように事務を進めているところです。
仁志田会長	ありがとうございました。それでは、ただいまの案件に対しまして、ご質問、ご意見等がございましたら、挙手の上ご発言をお願いします。
委員	<意見等なし>
仁志田会長	ご質問等がないようですので、事務局原案のとおり、同意することにご異議ございませんか。
委員	<異議なし>
仁志田会長	ご異議がないようですので、原案に同意することとします。  以上をもちまして、議事を終了させていただきます。 ここで、議長を退任させていただきます。ご協力、ありがとうございました。

<p>司会</p>	<p>次に、5のその他ですが、事務局からは特にありません。皆さんから何かございませんか。</p>
<p>仁志田会長</p>	<p>事務局、委員からは何もないようですので、この機会にスマートウェルネスシティについて、資料も用意はしておりませんが、少し皆様にお話させていただきたいと思います。</p> <p>高齢化社会になりますと、高齢者による交通事故も増えます。そのため高齢者の免許返上が問題になります。しかし、免許を返上してしまうと、買い物にも行けないということになってしまう訳です。</p> <p>そこで、年をとったら、まちの中に住み替えて、歩いて過ごす。寿命が延びたと言っても、健康でなければ意味が無いわけですから、健康寿命を延ばすために歩くということを考えていこうということです。</p> <p>この Smart Wellness City については、伊達市だけでなく Smart Wellness City 健幸都市首長連盟というものを立ち上げて勉強をしております。</p> <p>伊達市としてはこれから特区の申請をしようという勉強もしております。</p> <p>その中でも伊達市の中にモデル地区を設定して組織づくりをしていこうと考えています。そのモデル地区に霊山町掛田地区と梁川町白根地区を考えています。</p> <p>それはどのようにするのかといいますと、掛田地区でも商店街の空洞化して、郊外にお店が出来ている訳ですが、高齢者になったら、まちの中に住みかえをする。子どもに面倒を見てもらうということではなく、高齢者の共同住宅であるとか、子育て世代とともに住むようなコレクティブハウスをつくってそこに住む。まちなかお茶の間に行ってみんなでお話をする、コレクティブハウスでみんなの仕事をするというふうにして行こうということです。</p> <p>掛田地区については、掛田中央内科さんが高齢化社会に向けた複合的な施設をつくったり、往診をしたり、多機能な活動を行っていらっしゃるの地区と良い関係を築いている。</p> <p>また、掛田地区にはバイパスが整備されていて、町の中心街ときちんと結ばれているので、例えば、掛田の大通りを一方通</p>

行にして車を1車線にすれば、高齢者が安心して歩ける歩道ができる。掛田はバイパスと通りをつなぐ道路もあるのでそういう道路を利用してもらって、自動車交通、バス路線、デマンドタクシーなどを確保しながら、歩いて暮らせるまちを実現していけないかと考えています。

そういう意味でも今日、ご承認いただきました月舘エリアの延長というのは、買い物に行くために往復2000円かかるようなことから往復で1000円で行けるようになったということで、負担はあってもデマンドタクシーを高齢者が利用しやすい中身になったということで意義は大きいと考えています。

まちの中を考えるとということは、実は梁川でも保原でも同じでありまして、その場合には通過交通をしっかりと確保しなければなりません。そういう意味で、国道と生活道路が同じになっているような所では、きちんとバイパスを整備して生活道路と分離していかなければならない。

そういうことから、高齢化社会を再構築していこうと考えているということです。そういう観点から、掛田地区をモデル地区として検討したいと思っております。

このことは、いずれ関係機関にはお話をさせていただきたいと考えております。

司会

**【閉会】**

それでは、これをもちまして、伊達市地域公共交通活性化協議会を閉会といたします。

本日はありがとうございました。



## 出席者名簿

No.	組織区分名	委員職名	委員名	代理出席者
1	伊達市	市長 (会長)	仁志田 昇司	
2	ふくしま自治研修センター	総括支援アドバイザー 兼教授	吉岡 正彦	
3	国土交通省東北運輸局福島運輸支局	首席運輸企画専門官	兼平 悟	
4	福島県県北地方振興局	県民環境部長	今野 昭彦	
5	伊達警察署	交通課長	島 丈博	
7	福島県保原土木事務所	所長	小川 辰壽	
8	伊達市建設部	建設部長	長澤 健一	
10	福島交通株式会社	福島支社次長	鈴木 昭平	
12	阿武隈急行株式会社	代表取締役社長	佐藤 幸男	代理 菅野 義男
13	社団法人福島県タクシー協会	県北支部長	宍戸 清治	
14	有限会社丸和保原タクシー	代表取締役	寺島 剛	
16	有限会社ふくしま中央交通	代表取締役	高橋 好雄	
17	有限会社月館タクシー	代表取締役	菅野 午三	代理 菅野 靖子
18	新達交通株式会社	代表取締役	引地 達雄	
19	福島県北交通株式会社	自動車部長	石川 和雄	
20	保原町町内会長会連合会	会長	須永 英次	
21	伊達市PTA連絡協議会	会長	川崎 理恵子	
22	伊達市連合婦人会	会長	小野 洋子	
23	伊達市連合婦人会	副会長	管原 たか	
26	梁川・伊達まちなかタクシー運行委員会	委員長	丹野 善一	
28	霊山・月館まちなかタクシー運行委員会	委員長	直江 市治	
29	私鉄総連福島交通労働組合	福島支部支部長	紺野 淳	
30	自交総連福島地方連合会	執行委員長	鎌田 誠喜	
32	保原町商工会	会長	佐藤 晃司	
			計24人出席	